

第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム (吾妻流域)

1 流域の特色(国有林 57千ha、民有林 44千ha)

- ① 本流域は、群馬県の北西部に位置し、首都圏に水を供給する利根川の支流である吾妻川が流域のほぼ中央を東流している。国有林の約54%が上信越高原国立公園に指定されており、県境の山々に囲まれる中に湖沼や温泉があり豊かな観光資源に恵まれるとともに、首都圏から比較的近いことから、スキーやハイキングなど森林を利用したレクリエーションを含めて、保健・休養の場として多くの人々に利用されている。
- ② 流域全体における森林面積の割合は約80%と高く、造林樹種別に見るとスギやヒノキを中心とする東部地域とカラマツが主に植栽された西部地域に大別される。これらの地元産の木材を下流の消費地へ安定的に供給していくため、林業生産性の向上を図る取組みが必要である。
- ③ 温泉や景勝地に訪れる都市住民をはじめとして、地元住民、小中学校生が森林とふれあい、林業体験・森林環境学習が出来る場を提供するとともに、ボランティアグループなどへの森林整備フィールドの提供を通じて、森林の持つ公益的機能に対する理解を深める取組みが必要である。

2 流域内で優先的に取り組むべき課題

- ① 間伐検討会の実施
- ② システム販売による木材の計画的・安定的な供給
- ③ 木材製品需要拡大のためのPR
- ④ 公共事業における間伐材の利用促進
- ⑤ 森林施業共同団地化に向け、民有林等の関係者との意見交換等の実施
- ⑥ 森林や林業の重要性についてのPR
- ⑦ 小中学校生等に対する森林教室・体験林業などの開催
- ⑧ NGO・都市住民・企業等の森林ボランティアによる森林整備への協力
- ⑨ 森林の癒しの効果についてのPR
- ⑩ 間伐材のバイオマス燃料としての活用の検討
- ⑪ 山腹緑化の新たな工法の取組

3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

- ① 国土交通省、県、市町村等
 - ア) 森林施業の効率化・共通化等の取組
 - イ) 安全・安心への取組
 - ウ) 生物多様性保全に配慮した取り組みの推進

② 教育委員会、学校

ア) 計画的な木材供給の推進

(間伐材を利用したテーブルやベンチ等を各学校に配布し、児童・生徒に対し事業の普及・啓発)

イ) 生物多様性保全に配慮した取り組みの推進

ウ) 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

③ 森林・林業関係団体

ア) 森林施業の効率化・共通化等の取組

イ) 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成

ウ) 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

④ 企業、市民等

ア) 計画的な木材供給の推進

イ) 森林施業の効率化・共通化等の取組

ウ) 生物多様性保全のための検討会・勉強会・シンポジウム等の開催

エ) 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

4 国有林野事業が率先して行う取組

① 計画的な木材供給の推進

ア) 目標

地域材の安定的な供給

イ) 連携・協力機関

素材生産業者、製材工場

ウ) 取組方向

定期的な公売、国有林材の安定供給システム販売を実施する。

② 森林施業の効率化・共通化等の取組

ア) 目標

森林施業共同団地の設定に向けた検討、国有林の巨樹巨木「姫仙の滝カツラ」の保全

イ) 連携・協力機関

環境森林事務所、地元町村、森林組合、姫仙の滝カツラ保全協議会(草津町)、地元ボランティアほか

ウ) 取組方向

森林施業共同団地化に向け、民有林等の関係者との意見交換等を行うとともに、関係機関と連携して「姫仙の滝カツラ」の周辺歩道の整備とPRを行う。

③ 業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成

ア) 目標

緑の雇用対策等への協力、林業事業体の安全点検等の実施

イ) 連携・協力機関

林業事業体、環境森林事務所、労働基準監督署、林業・木材 製材業労働災害防止協会群馬県支部、森林組合ほか

ウ) 取組方向

緑の雇用担い手対策事業の実施に伴う研修フィールドに国有林を提供するとともに、労働災害の防止や効率的な間伐のため検討会等を計画する。

④ 安全・安心への取組

ア) 目標

治山事業の役割についての普及・啓発

イ) 連携・協力機関

地元町村ほか

ウ) 取組方向

- ・ 治山事業現地見学会の開催
- ・ 山腹緑化の新たな工法に取り組む。

⑤ 生物多様性保全に配慮した取組の推進

ア) 目標

野生鳥獣による植栽木の加害（クマ剥ぎ等）などの対策検討等

イ) 連携・協力機関

環境森林事務所、地元町村、森林組合、林業事業体、研究機関など

ウ) 取組方向

林内の野生鳥獣による被害状況の調査

⑥ 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

ア) 目標

教育機関等と連携した森林環境教育の推進、ボランティアによる森林整備、森林における未利用資源の利用拡大と推進体制、育樹祭へ協力

イ) 連携・協力機関

国土交通省、県、地元町村、教育関係機関、ボランティア団体

ウ) 取組方向

教育機関等と連携して森林教室や体験林業を実施、ボランティア団体等による森林整備へ参加協力、冬場における森林の利用（スノーシューのコース整備やツアー）と推進体制を検討する。

また、群馬県内で開催される育樹祭に協力する。

流域名・流域番号	吾妻流域（４２）	担当部署	吾妻森林管理署
計画期間	平成２２年４月１日～平成２５年３月３１日		